

南丹市



市勢要覽

MANUAL OF THE CITY ADMINISTRATION



京都府のほぼ中央に位置し、日本海に注ぐ由良川と、太平洋に注ぐ淀川水系の大堰川が流れる南丹市。緑豊かな丹波山地の懐に抱かれたこの里は、春夏秋冬、それぞれの季節と共に暮らしている人と自然がやさしくふれあう場所。

南丹の『宝もの』、自然・歴史・文化、そして人を大切に―

「行ってみたい」「住み続けたい」まちをめざして、輝く未来へとつながる魅力あるまちづくりをはじめます。

古から受け継がれてきた歴史・文化と

この地で暮らす人々の鼓動が交わり、

こころ落ち着く「日本のふるさと」。

そして今、よりよい明日、輝く未来へ向けた

新たな営みが、穏やかにはじまることとしている。



日吉ダム(日吉町)



南丹市やぎの花火大会(八木町)



るり溪「鳴瀑」(園部町)



かやぶきの里(美山町)

CONTENTS

31	市長あいさつ
30	沿革《市域の変遷》
28	まちの概況
26	南丹歳時記
13	南丹市行政施策
12	南丹の味わい
10	なんたんMAP
8	南丹の文化財・歴史探訪 「南丹の歴史・文化を語り継ぐものたち」
4	南丹の四季「春」「夏」「秋」「冬」

春

まだ枯葉色した
野に春雨が降る。
七色の光が春を呼ぶ……。



南丹の春は、明るくて気持ちがいい。
白い雪をいただく山々を背景に、里では梅の花がちらほら、
林の中からはウグイスの美しいさえずり、
陽当たりのよい野辺はまるで一面がお花畑のよう。
この生き物たちの息吹なしでは南丹の自然の美しさはありえない。

「花はまだかな」といえば、それは桜のこと。
桜は野にあっても、暮らしの中にあっても、美しい。



多治神社の桜並木(日吉町)



大堰川の桜(八木町)



京都帝釈天石段(八木町)



文覚堂(八木町)



アイガモ農法の水田(日吉町)

紺碧の空に、
さんさんと降りそそぐ太陽の光、
水辺ではカジカガエルの声と
子どもたちの笑い声がこだまする。
青々とした田園風景、濃緑になった山々、
草間に息づくたくさんの生命たちの競演は
南丹の自然のちからのあらわれか。

夏

新緑の中、
太公望の季節

由良川の鮎釣り(美山町)



天若地内の滝(日吉町)



ゲンジボタルが
幻想的な光を放ちながら
飛び交う。

木住川のホタル(日吉町)



芦生の原生林(美山町)



るり溪遊歩道(園部町)



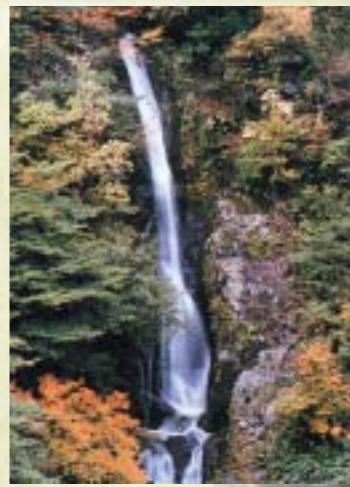
秋



秋の澄んだ空に
黄金色の田んぼが美しく映える。

南丹の四季

実りの秋、色づく秋。
黄金色に輝く稲、真っ赤に咲く彼岸花、
鮮やかな錦の色を見せるイロハカエデ、
風に運ばれてくる南丹の秋は華やかで美しい



音谷の滝(美山町)



唐戸の溪谷(美山町)

色鮮やかな実りのころ
まさに秋真っ盛り



龍穂寺の紅葉(園部町)



茅塚(美山町)



いかにも
冬らしい風景が
野山に広がる。



一面、白銀の雪を宿らせた里が
別世界を作る。



海老谷林道からの雲海(日吉町)

澄き通った凍とした空気が、
真っ白に研ぎ澄まされた雪景色、
その雪の下でひっそり春を待つ小さな命…
南丹には「日本の冬」の真髓が
あちらこちらに見え隠れする。

春間近の「木もれ陽の宿」(ひよし山の家)



春を待つ里山に
あたたかな陽光が降り注ぐ。

南丹の四季

冬

南丹の歴史・文化を語り継ぐものたち

南丹という地は文化の宝庫。それらの文化はいかにして生まれ、今を生きるわれわれに何を語りかけるのか。多くの人々の心が守り続けてきた、数々の文化財・文化遺産。南丹文化の特性が生きるこれら宝ものを、次世代に語り継ぐことがわたしたちの使命です。



【園部城跡】(園部町)
元和5年(1619)～元和7年(1621)の2年間で築城。当時は、園部川、半田川も含めた南北600m、東西400mの外堀に囲まれた園部城の跡地で現在は府立園部高校と園部高校附属中学校がある。



【普濟寺観音堂】(園部町)
平安期の草創とも足利尊氏の創建ともいわれる。国の重要文化財である中世禅宗様建築の観音堂は府内屈指のもの。堂内には桃山時代作の千種姫像がある。



【九品寺】(園部町)
弘法大師が開祖といわれる。開山は白河院で、永保年間(1018～83)に院自ら伽藍を建立。九品安樂の浄土と慕われ、鎮護国家の道場として栄える。



【生身天満宮】(園部町)
延喜元年(901)、太宰府に左遷された菅原道真公を生祠として奉斎したのがはじまりといわれる最古の天満宮。一間社流造の本殿は江戸中期の秀作。



【小出吉親像】(園部町・徳雲寺蔵)
元和5年(1619)、但馬国出石より転封となり、園部に入部。地元有力氏族小出氏のもとに身を寄せ、園部藩の成立に尽力した小出吉親の像。



【京都帝釈天】(八木町)
宝亀11年(780)に和気清麻呂が建立し、弘法大師によって伽藍が整えられたといわれている。約650mの参道には108つの鐘が並んでいる。



【十六羅漢】(八木町)
八木町清源寺。ここに残る木喰五行明満(木喰上人作)の十六羅漢は、全国に数ある木喰羅漢像の中でも最高傑作といわれる微笑仏。



【龍興寺】(八木町)
京都三龍のひとつ。臨済宗妙心寺派の名刹で、本堂東側には切妻造椀瓦葺のこじんまりとした鐘楼がある。



【内藤ジョアン顕彰碑】(八木町)
キリシタン武将として高山右近とともに活躍した内藤ジョアンの偉業をたたえて、城山のふもとに建てられた顕彰碑。



【かやぶきの里】(美山町)
約50戸の集落のうち38戸がかやぶき屋根。伝統的なかやぶきの技法とともに継承された歴史的景観が評価され、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定。



【石田家】(美山町)
慶安3年(1650)の建造といわれる日本最古の農家住宅。「北山型」住宅の原型の残る貴重な建物として、昭和47年に国の重要文化財に指定。



【八幡神社】(美山町)
延久3年(1067)に創建された、旧知井九カ村の村社として応神天皇を祀る。丹波地方、江戸中期以降の装飾を極めた社殿は府指定の文化財。



【西光寺】(八木町)
市指定の文化財である本堂のほか、念仏主体の典型が伝承されているとして府の無形民俗文化財に指定されている六斎念仏が有名。



【かやぶき音楽堂】(日吉町)
世界的ピアノデュオ、サイラー夫妻が移築・建造したかやぶき屋根のコンサートホール。初夏と秋にコンサートを開催。国登録有形文化財。



【西乗寺】(美山町)
天文20年(1551)に開かれた西乗寺内に祭られた木造阿彌陀如来と両脇侍座像の三尊佛(重要文化財)は火伏の仏様として地元民の信仰を集めている。



【道相神社】(美山町)
木梨軽皇子が神武天皇と五瀬命を祀って軽野神社を創建したことから始まる。応永15年(1408)の火災により、現在の社殿は文政5年(1822)に改築。



【歓楽寺】(美山町)
延暦年間(728～806)、桓武天皇の病氣平癒を祈願したところ、3日で回復。それ以降、天皇の勅願所として歓楽寺の寺号を受けたという。



【普門院の懸仏】(日吉町)
立円形の中に仏像を現したもので、普門院に伝わる懸仏は、銅版鏡を含め139面にもほり、中世の信仰資料として注目すべきものである。



【木造毘沙門立像】(日吉町)
如意寺の本堂中ノ門に本尊地藏菩薩像の左脇侍として安置されている立像で、室町時代作。



【多治神社】(日吉町)
慶雲年間(704～708)の創祀とも、天智天皇第3皇子田原左大臣の勧請ともいわれる。社殿は18世紀中期の二間社流造。「御田」や「カッコスリ」が有名。



【海老谷玉岩地藏】(日吉町)
京と若狭を結ぶ若狭街道の要所・海老谷の山深い石垣の上に立つ八百比丘尼ゆかりの玉岩地藏(江戸時代)。



かやぶきの里
かやぶき屋根の民家がひな壇状の傾斜地に集まって建っている様は見事。誰もが懐かしいと感じる日本の原風景が残るこの里には、民俗資料館や特産品販売所、民宿、お食事処などがある。
【美山民俗資料館】江戸時代初期の農家を再現してつくられた資料館。母屋を中心に小屋と蔵の三棟で屋敷を構える典型的な農山村住宅。館内には、生活用具、民具、農具などを展示。



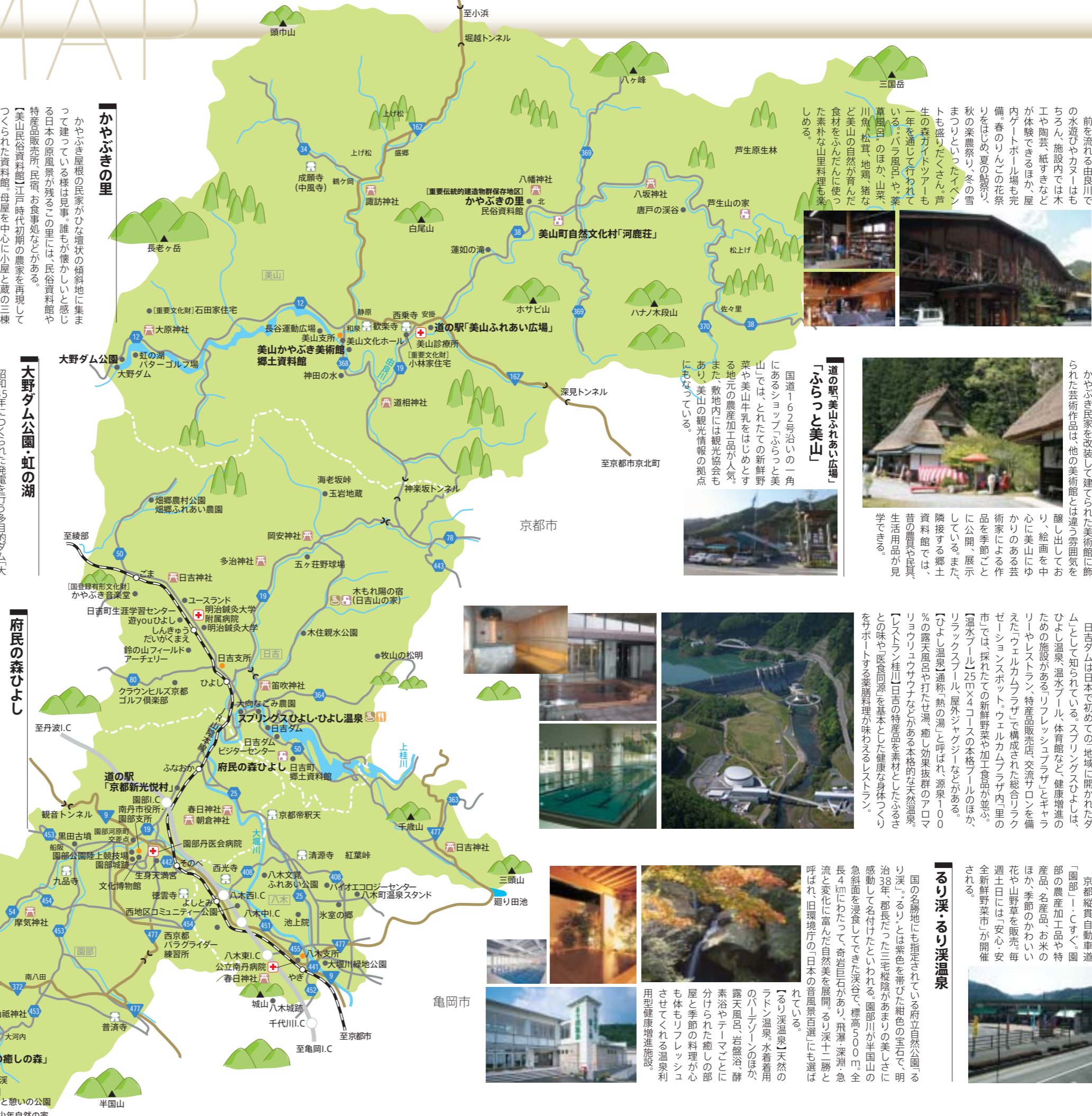
大野ダム公園・虹の湖
昭和35年につくられた発電を行う多目的ダム。大野ダムを取り囲む、自然豊かな天然芝の公園。春にはダム湖のまわりの1,000本の桜ソメイシシノが満開となり、とても美しい。夏はピクニックや昆虫採り(クワガタ・カブトムシ・セミなど)、秋は紅葉、冬は雪遊びと、四季を通じて楽しめる。また、レンタルボートや全36ホール(天然芝)のフィールドでパターゴルフも楽しめる。さくら祭りともみじ祭りは特に有名で、毎年市外からも多くの人が訪れる。



府民の森ひよし
日吉タムのすぐ上流にある自然と遊びながら学ぶことのできる施設。総面積128haの広大な敷地に、4つのゾーン「観察の森」「森の広場」「体験の森」がある。そのほか、森の大切さや面白さを体験や学習、交流を通して体感できる「森の資料館」「木工研修館」や、日吉の歴史や伝統文化を物語る「郷土資料館」など、自然・歴史・文化とふれあえる施設が充実。

【森の広場】宿泊車であるメインキャンピング・サフキャンピングのほかにサイクリングターミナルがある。50台あるレンタルサイクルで豊かな自然に囲まれたサイクリングコースを楽しめる。
【観察の森】観察の森・散策の森(コナラや赤松などの森のなか、野鳥のさえずりを聞きながら、森林浴が楽しめる散策路)は森の生態系が観察できる。

南丹市八木農村環境公園「氷室の郷」
アメニティ広場やレストラン、手づくり体験が楽しめる農産館、草木工房、ふれあいダチョウ園などの充実した施設が整う。そば打ち体験、ハム・パンづくり体験、木工体験、紙すき体験など、各種体験もできるプレイススポット。



美山町自然文化村「河鹿荘」

前を流れる由良川の水遊びやカヌーはもちろん、施設内では木工や陶芸、紙すきなどが体験できるほか、屋内ゲートボール場も完備。春のりんごの花祭りははじめる夏の鮎祭り、秋の楽農祭り、冬の雪まつりといったイベントも盛りだくさん。声生の森カイトツアーも一年を通じて行われている。ハラ風呂や、菜草風呂のほかに、山菜川魚、松茸、地鶏、猪など美山の自然が育んだ食材をふんだんに使った素朴な山里料理も楽しめる。



美山かやぶき美術館・郷土資料館

かやぶき民家を改装して建てられた美術館に飾られた芸術作品は、他の美術館とは違う雰囲気を感じさせており、絵画を中心に美山にゆかりのある芸術家による作品を季節ごとに公開、展示している。また、隣接する郷土資料館では、昔の農具や民具、生活用品が見学できる。



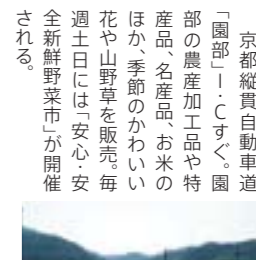
日吉ダム・スプリングスひよし

日吉ダムは日本で初めての「地域に開かれたダム」として知られている。スプリングスひよしは、ひよし温泉、温水プール、体育館など、健康増進のための施設がある。「リフレッシュプラザ」とギョーリヤレストラン、特産品販売店、交流サロンを備えたウェルカムプラザで構成された総合リラクゼーションスポット。ウェルカムプラザ内「里の市」では、採れたての新鮮野菜や加工食品が並び、「温水プール」25m×4コースの本格プールのほか、リラクゼーション、屋外ジャグジーなどがある。「ひよし温泉通称「熱の湯」と呼ばれ、源泉100%の露天風呂や打たせ湯、癒し効果抜群のアロマリョウリュウサウナなどがある本格的な天然温泉。「レストラン桂川」日吉の特産品を素材としたふるさと味の味や「医食同源」を基本とした健康な身体づくりをサポートする薬膳料理が味わえるレストラン。



道の駅「京都新光悦村」

京都縦貫自動車道「園部」ICすぐ。園部の農産加工品や特産品、名産品、お米のほか、季節のかわいい花や山野草を販売。毎週土日には「安心・安全新鮮野菜市」が開催される。



るり深・るり深温泉

国の名勝地にも指定されている府立自然公園「るり深」。るりとは紫色を帯びた紺色の玉石で、明治38年、郡長だった三宅松陰があまりの美しさに感動して名付けたといわれる。園部川が半国山の急斜面を浸食してきた渓谷で、標高500m。全長4kmにわたって、奇岩巨石があり、飛瀑、深淵、急流と変化に富んだ自然美を展開。るり深十二勝と呼ばれ、旧環境庁の「日本の首風景百選」にも選ばれている。



【るり深温泉】天然のラドン温泉。水着着用のハーブソンのほか、露天風呂、岩盤浴、酵素浴やテーマごとに分けられた癒しの部屋と季節の料理が心も体もリフレッシュさせてくれる温泉利用型健康増進施設。



南丹の 味わい

内陸性という独特の気候風土をもつ南丹市には、その特色をかした食材が豊富にあります。丹波産として、日本一とも言われる松茸や栗はもちろん、京の伝統野菜の産地としても知られる実りの里。活気溢れる朝市などでは、うまいもんが勢揃いします。



- 【栗】古い歴史を持ち、大粒で甘みがあり、色つやに優れた丹波栗は南丹を代表する山里の味。
- 【松茸】軸が太く、香り高いと評判の丹波松茸。緑豊かな山で採れる最高級品。
- 【黒大豆】霧深い気候がつくり出す大粒で風味豊かな黒大豆は、味、色つやとも一級品。
- 【山の芋】湿潤な気候と良質の土。南丹ならではの自然環境が滋養に富んだ山の芋をつくる。



▲地鶏たまご
自然豊かな美山の地でのびのびと育った平飼いの地鶏が生み出す濃厚な味が魅力。



▲美山牛乳
美山で搾乳された生乳のみを低温殺菌した成分無調整の味わい深い牛乳。



▲京の伝統野菜
みず菜をはじめ、九条ねぎ、壬生菜…など、南丹は京の伝統野菜の一大産地。



▲みそ
日吉特産の黒大豆「日吉丸」で仕込まれる出せみそ。甘くてまるやかな風味が絶品。



▲日吉丸ぐらっせ
ふるさと食品コンクールで大臣賞に輝いた逸品。黒大豆本来の味を生かした上品な味わいが秀逸。



▲しいたけ
手間暇かけてつくるしいたけは大葉で肉厚。香ばしくて甘みもあると評判。



▲黒豆茶
丹波黒大豆の黒豆茶は、温めても冷やしてもおいしく、飲み心地もさわやか。



▲ポタン鍋
脂ののった新鮮な猪肉は特有の匂いがあるので、地元産の野菜と一緒に味噌で煮込む。



▲栃もち
美山に自生する栃の実を伝統の手法であく抜きして使用。独特のほろ苦さが美味。



▲貼
清らから豊富な水量を誇る清流の里。美山で育った貼の香りと味は極め付け。

地域の個性結んで
キラリ輝くまちづくり始動。





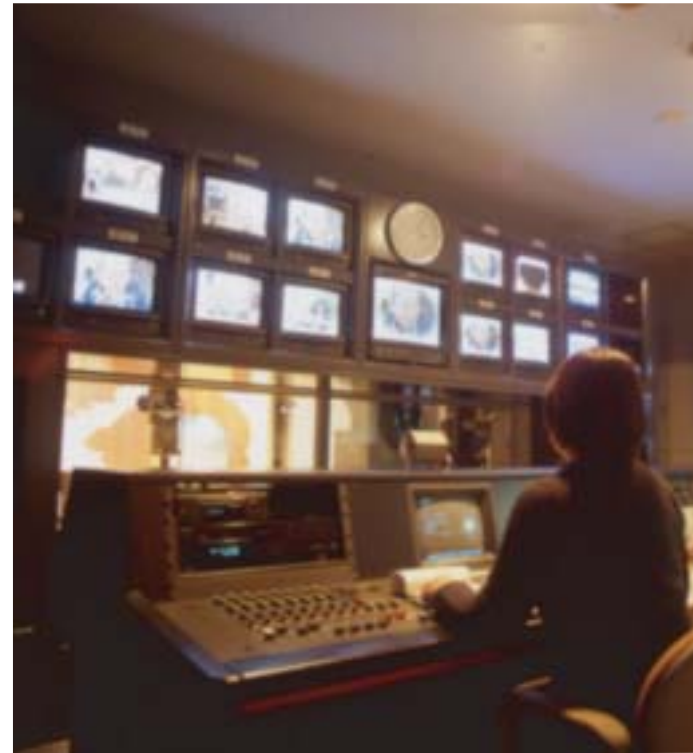
南丹の“宝もの”、自然・歴史・文化、そして人を大切に——
「行ってみたい」「住み続けたい」まちをめざして、
輝く未来へとつながる魅力あるまちづくりをはじめます。

人とひと、人とまちの出会いで広がる交流の輪

自然環境との調和を大切に、人と人との交流拠点となる市街地や駅周辺などの整備を図るとともに、公共交通、道路、情報通信システム、住環境、上下水道など、快適な暮らしができる生活基盤の整備を進めています。



国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている
かやぶき民家を守るための放水銃の一斉点検(美山町)



南丹市情報センター(平成20年4月、市内全域に
光ファイバーのネットワーク網が完成)



JR山陰本線の複線化工事(平成21年春の完成に向けて工事が進められている)



日吉ダムは洪水調節、生活用水ダムとして平成10年に完成(日吉町)



カヌー教室で豊かな水辺空間に親しめる
大堰川(八木町)



市営バス美山園部線
(平成18年1月、合併
と共に運行を開始)



京都府内の南北をつなぐ京都縦貫自動車道
(園部インターチェンジ)



南丹の“宝もの”、自然・歴史・文化、そして人を大切に—
 「行ってみたい」「住み続けたい」まちをめざして、
 輝く未来へとつながる魅力あるまちづくりをはじめます。

自然と共に、自然と楽しく、心なごむ環境があります

人と自然が穏やかに共生し、心豊かにくらししていくため、美しい山里環境の保全に努めています。
 また、太陽光発電システムの活用、美しいまちづくり条例などの取り組みをはじめ、
 リサイクルの推進、環境教育の実践など、ふるさとの自然を大切に環境づくりを着実に進めています。



パイオエコロジーセンター(八木町)



ソーラーパネルのある八木中学校



新庄小学校風力発電施設(八木町)



堆肥施設



環境教育の
 取り組みが積極的
 に行われています。



茶摘み体験(美山町)

イベントや
 草の根の環境活動が
 活発に行われています。



ひよし新緑まつり



草木染め体験



自然文化体験スクール



毎月8の日の分別収集



水辺の観察(八木町)



畑郷ふれあい農園・植付祭(日吉町)



芦生の原生林(美山町)

南丹の“宝もの”、自然・歴史・文化、そして人を大切に——
 「行ってみたい」「住み続けたい」まちをめざして、
 輝く未来へとつながる魅力あるまちづくりをはじめます。

健やかで安心して暮らせる、うるおい生活空間

子どもから高齢者までのだれもが、うるおいのある空間で生きがいをもって暮らせるまちを基本に
 医療体制の充実、健康増進への支援、子育て支援をはじめ、
 高齢者や障がいのある人を地域で支え合う“福祉の風土づくり”、防災・救急体制の整備などを推進しています。



全京都車いす駅伝競走大会(丹波自然運動公園)



こむぎ山健康学園で行われているリハビリ教室(園部町)



ゲートボール大会(美山町)



親子で交流できる子育てすこやか支援センター(園部町)



郷土料理教室(日吉町)



殿田いきいきサロン(日吉町)



中学校体育祭(八木町)



子宝祝金支給認定式



南丹の“宝もの”、自然・歴史・文化、そして人を大切に——
「行ってみたい」「住みたい」まちをめざして、
輝く未来へとつながる魅力あるまちづくりをはじめます。



にぎわい、躍進、活力いっぱいの元気なまち

南丹市では、京野菜を中心とした農林業や京都新光悦村をはじめとする企業誘致などに取り組んでいます。京都新光悦村は、次代を担う産業拠点として、新たな雇用の創出と定住人口の増加につながるものと期待されています。さらに、2つの大学と3つの専門学校があり、多くの学生でにぎわっています。



伝統と先端のものづくり拠点・京都新光悦村に7社が進出を表明(京都府庁)



大野ダムもみじ祭り(美山町)



市内には明治鍼灸大学、京都医療科学大学(平成19年4月誕生)、京都国際建築技術専門学校(平成19年4月、京都建築大学校に校名変更)、京都伝統工芸専門学校(平成19年4月、京都伝統工芸大学校に校名変更)、公立南丹看護専門学校があり多くの学生でにぎわう



平成16年10月の台風23号で倒れた日本三景・天橋立の松を使い京都伝統工芸専門学校の生徒約60人が文殊菩薩像を平成18年4月に製作。宮津市の智恩寺に納められている



毎年所狭しと優良材が並ぶ林業振興展(八木町)



鮎の稚魚放流(美山町)

魅力あふれるまちを創造する舞台いろいろ

生涯を通じて学習活動を行える「学ぶ環境」・「こころの豊かさを育む環境」づくりを推進しています。
 このため、乳幼児・就学前教育の充実、自然環境や地域特性を生かした学校教育の取組、
 総合的な生涯学習体制の整備、文化・スポーツの振興、歴史・伝統文化の保存・継承に努めています。



京都中部文化芸術祭「和太鼓フェスティバル」



府民の森ひよしで行われる「こいこい祭り」三輪車レース(日吉町)



鶴ヶ岡小学校「雪像づくり」(美山町)



クリスマスツリーづくり(美山町)



女性の館「さをり織り」体験(園部町)



美山サイクルロードレース(美山町)



園部スポーツフェスティバル(園部町)



八木中央幼児学園「お別れ会」(八木町)



大堰川ジョギング大会(八木町)



日吉ダムマラソン(日吉町)



新春席書大会(園部町)



ひよし「水の杜」フェスタ(日吉町)

南丹の“宝もの”、自然・歴史・文化、そして人を大切に——
「行ってみたい」「住みたい」まちをめざして、
輝く未来へとつながる魅力あるまちづくりをはじめます。

人がふれあい、学び、考え、共に成長する社会

積極的な住民参加による協働のまちづくりが求められています。
南丹市では、情報公開の推進、住民によるコミュニティ活動・地域づくりの支援、住民の市政参画の充実、行政組織の効率化を図る一方、
人権を大切にする地域社会づくりをさらに推進していきます。



そのべ龍神まつり(園部町)



人権を大切にするまちづくりに向け発足した南丹市人権教育・啓発推進協議会



企業や住民への説明会を積極的に行っています



「美山の魅力と可能性」を探りあったフォーラム(美山文化ホール)



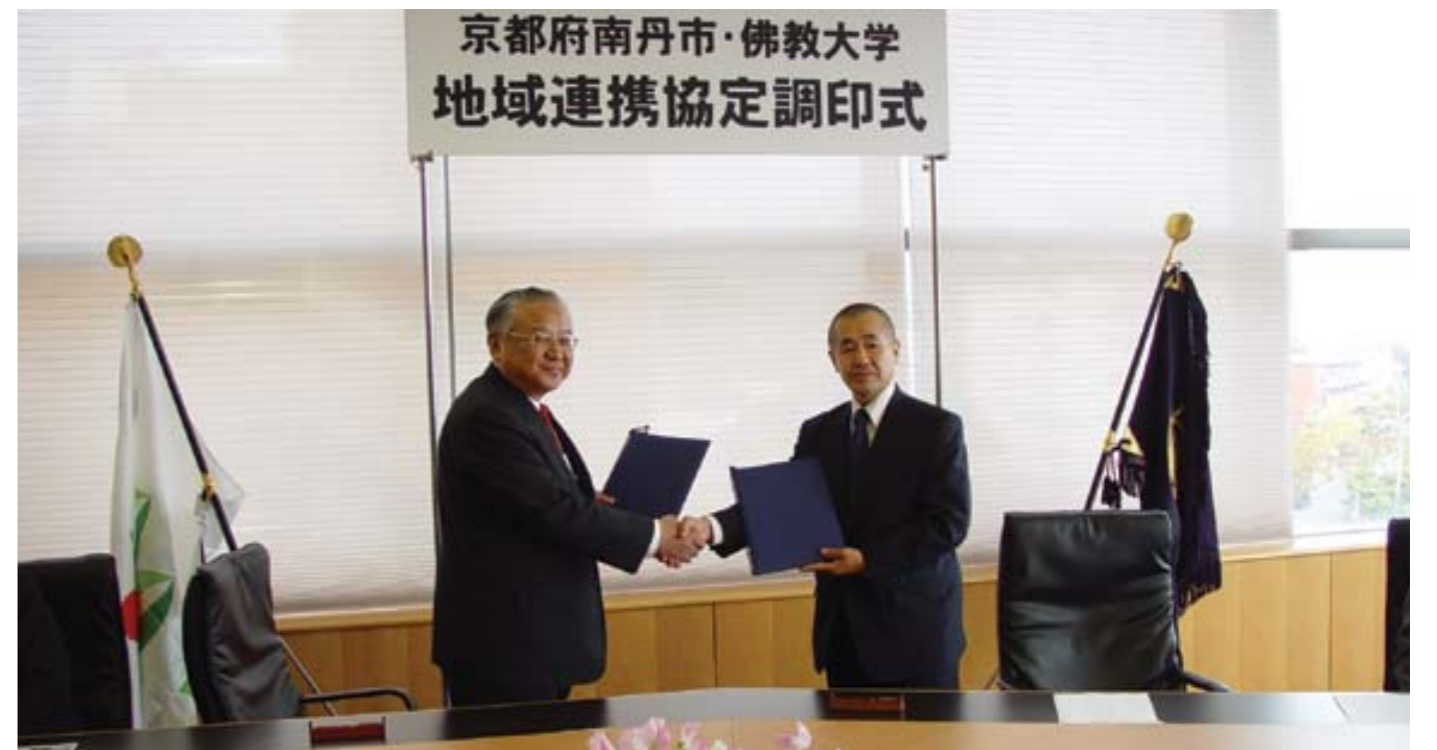
スプリングフェスタ(日吉町)



美山ふるさと祭(美山町)



にこにこまつり(八木町)



南丹市と佛教大学はまちづくり・人づくりのパートナーとして連携協定を締結(佛教大学)

南丹 歳時記

EVENT & FESTA CALENDAR



田原のカッコスリ



摩気神社神幸祭



南丹市やぎの花火大会



田原の御田



生身天満宮春まつり



からす田楽



田歌の神楽



お田植えまつり



春日神社 春祭り



綱引き神事

十二月

「京都帝釈天 除夜の鐘」
31日▼京都帝釈天《八木町船枝》
参道に並ぶ百八つの鐘を打ち鳴らしながら本堂まで進む。

十一月

「大野ダムもみじ祭り」
上旬▼大野ダム公園《美山町榎原》
美山町の景勝地で開催される秋祭り。ダム湖に映える山の紅葉が見事。

十月

「日吉神社の馬馳け」
第三日曜「日吉神社《日吉町胡麻》
秋祭りに奉納される流鏝馬。神社前の馬場を駆け、的を射る所作を行う。

「田原のカッコスリ」
四人の稚児の周りを鞆鼓を持ったカッコスリ四人が笛や締め太鼓、サンヤレ四人の囃子に合わせて踊る。府指定無形民俗文化財。

「天婦神事」
21日▼大送神社・幡日佐神社《八木町日置・氷所》
大送神社(女の神)と幡日佐神社(男の神)との婚礼を模した行事。婚礼行事のあと、流鏝馬、狩装束で杉板の的を射ち、来る年の豊凶を占む。

「からす田楽」
五穀豊稔を願い、田を荒らすカラスを追い払う所作が滑稽。府登録無形民俗文化財。

「摩気神社神幸祭」
14日・15日▼摩気神社《園部町竹井》
御輿や稚児行列が練り歩き、深夜には御旅所で「練り」や「角力式」が演じられる。15日は流鏝馬稚児による「御幣振り」的射が行われる。

「玉岩地藏の秋彼岸法会」
下旬▼玉岩地藏堂《日吉町四ツ谷》
若狭の八百比丘尼ゆかりの延命子安地藏として知られ、多くの参拝者を集める法要。

九月

「上げ松(松上げ)」
24日▼美山町鶴ヶ岡・盛郷・若生
「灯籠木」という高い松丸太の先端に「火うけ」をつけ、点火した松明を投げ入れて、家内安全、五穀豊稔などを祈る。府登録無形民俗文化財。

八月

「牧山の松明行事」
北山から丹波地方で行われていた万灯ろうと愛宕信仰が習合した火祭り。大小の松明が夏の夜空を焦がす。府登録無形民俗文化財。

「南丹市やぎの花火大会」
14日▼八木町大堰橋一帯《八木町西田》
数千の灯ろうが川面を彩り、豪華に花火が打ち上げられる。

「そのべ夏まつり」
15日▼園部大橋周辺《園部町上本町》
20日・23日▼西光寺《八木町美里》
20日の宵大師の法要と23日の地藏盆の夜、浴衣に鐘と太鼓といういでたちで行われる。府指定無形民俗文化財。

七月

「虫送り神事」
18日▼鏡神社《園部町口司》
松明をかざして田畑についた害虫を追い払う。

六月

「田歌の神楽」
14日▼八坂神社《美山町田歌》
神主、天狗、奴、ひよっと、お多福などの行列が「神楽」や「さんぎり」にぎまぐらに披露する。府登録無形民俗文化財。

「お田植えまつり」
第1日曜▼摩気神社《園部町竹井》
奉仕の早乙女が歌や太鼓に合わせて踊り、粽を早苗に見立てて田植えの手振りを行い、五穀豊稔を祈願する。

五月

「田原の御田」
3日▼多治神社《日吉町田原》
作太郎(作次郎)の二人が種漬けから稲刈りまでを狂言風に演じる民俗芸能。国指定重要無形民俗文化財。

「生身天満宮春まつり」
1日▼生身天満宮《園部町美園町》
稚児行列や御輿が練り歩き、境内には露店が並び、雷除けのお札を求める参拝客も多い。

「そのべ龍神まつり」
3日▼シンボルロード《園部町宮町他》
44基の御輿が練り歩く。

四月

「大野ダムさくら祭り」
上旬▼大野ダム公園《美山町榎原》
千本の桜の下、桜食堂や特産館を開設。夜は桜のライトアップと花火の打ち上げも。

「春日神社 春祭り」
16日▼春日神社《八木町本郷》
下旬▼日吉ダム周辺《日吉町天若》

三月

「アマゴ釣り解禁」下旬

二月

「雪灯ろう」
上旬▼かやぶきの里《美山町北》
雪のかやぶき民家をバックに、灯ろうが揺らめく幻想的なイベント。

一月

「綱引き神事」
17日▼大送神社《八木町日置》
住民が南北二手に分かれて綱を引き合い、農作物の豊凶を占う。府登録無形民俗文化財。

「厄神祭」
19日▼八幡神社《園部町内林町》
垣内古墳跡があり、「かいちの厄神さん」と親しまれている神社で行われる厄除けの神事。



日吉神社の馬馳け



夫婦神事



牧山の松明行事



虫送り神事



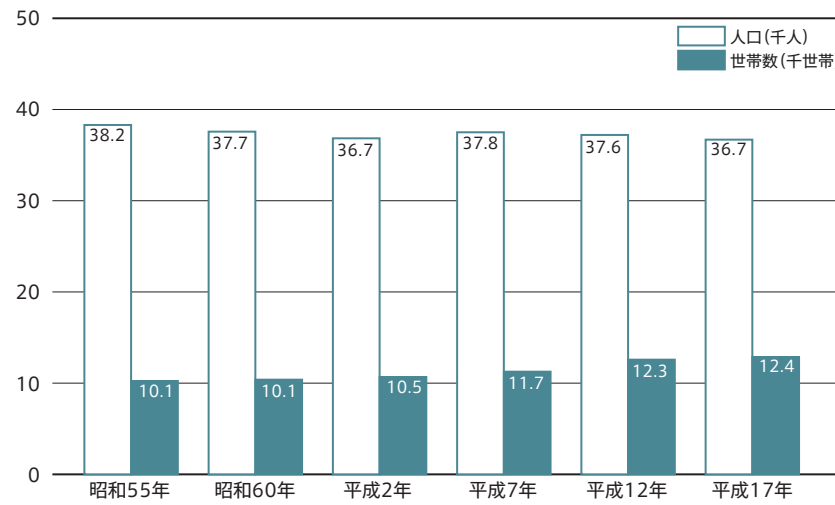
大野ダムさくら祭り



雪灯ろう

人口・世帯数の推移

[資料]総務省「国勢調査報告」



▼人口

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
南丹市	38.2	37.7	36.7	37.8	37.6	36.7
旧園部町	14.8	15.0	15.1	16.3	16.8	17.0
旧八木町	10.8	10.6	10.3	9.9	9.4	8.9
旧日吉町	6.6	6.3	5.9	6.2	6.2	6.0
旧美山町	5.9	5.8	5.5	5.5	5.2	4.9

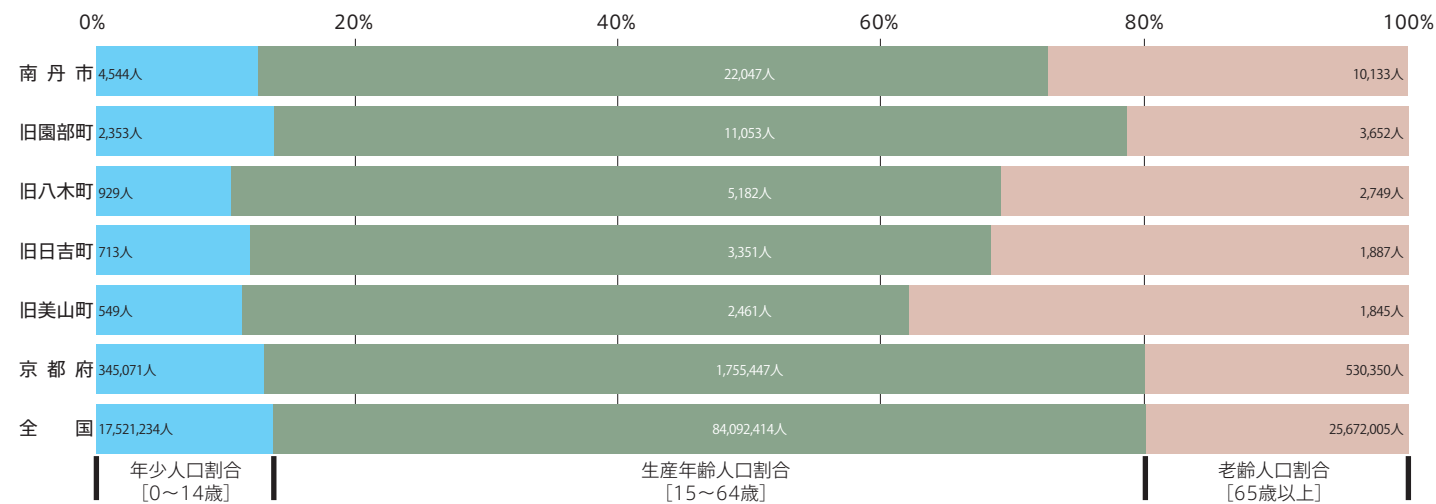
▼世帯数

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
南丹市	10.1	10.1	10.5	11.6	12.3	12.4
旧園部町	3.8	3.9	4.3	5.2	5.8	5.9
旧八木町	2.7	2.7	2.8	2.8	2.8	2.8
旧日吉町	1.8	1.8	1.7	1.9	2.0	2.0
旧美山町	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7

※世帯数は一般世帯の値です。

年齢3区分別人口割合

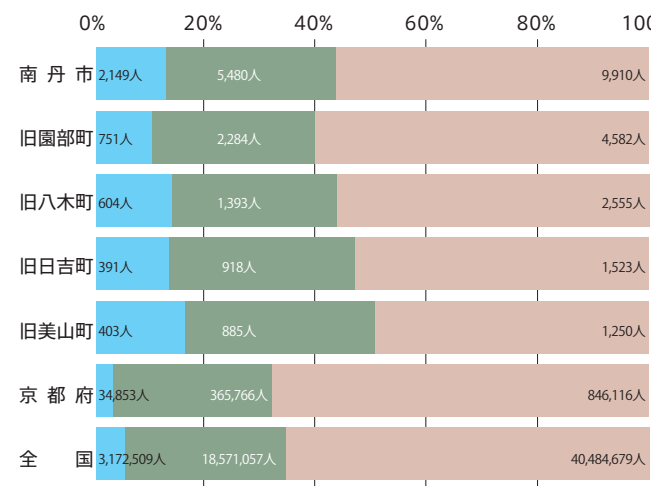
[資料]総務省「国勢調査報告」



産業別に見た就業人口割合

※従業員ベース

[資料]京都府「平成16年京都府統計書」



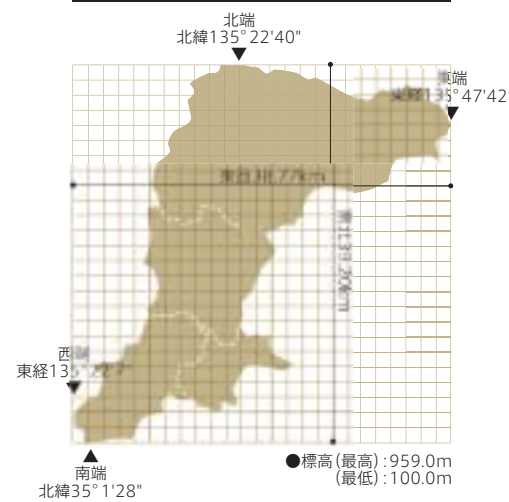
▼農業・製造業・商業の府内シェア

	南丹市	旧園部町	旧八木町	旧日吉町	旧美山町	京都府
農業産出額(千円)	496	141	190	108	57	7,520
府内シェア(%)	6.6	1.9	2.5	1.4	0.8	—
製造品出荷等(千円)	7,442	3,111	3,691	270	368	481,604
府内シェア(%)	1.5	0.6	0.8	0.1	0.1	—
卸売・小売業商品販売額(千円)	2,795	1,570	903	147	173	744,871
府内シェア(%)	0.4	0.2	0.1	0.0	0.0	—

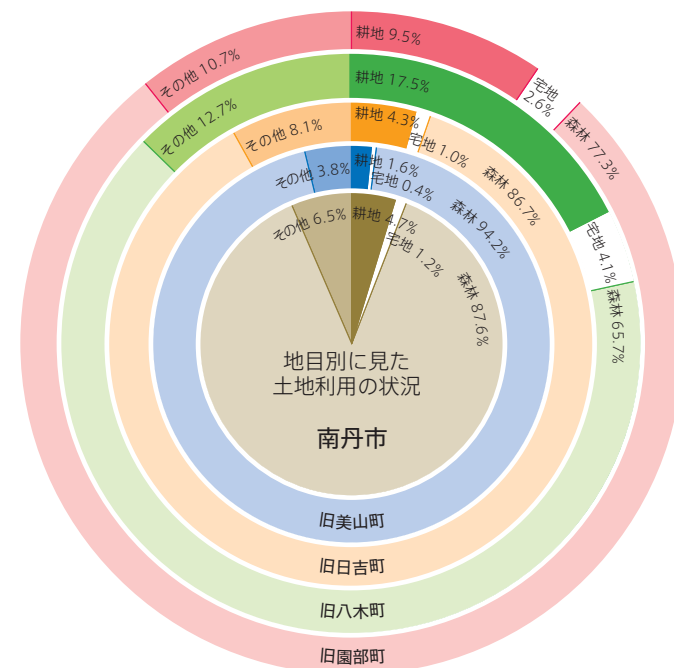
※製造品出荷額等は4人以上の事業所による値です。データの年次は、農業産出額は平成15年、製造品出荷額等は平成16年、卸売り小売業商品販売額は平成16年です。

まちの位置・面積・地勢

	面積(km ²)	割合(%)
南丹市	616.31	13.4
旧園部町	102.78	2.2
旧八木町	49.56	1.1
旧日吉町	123.50	2.7
旧美山町	340.47	7.4
京都府	4,612.97	100.0



土地利用の状況



	耕地	宅地	森林	その他	計
南丹市	28.9	7.5	543.0	37.0	616.3
旧園部町	9.7	2.8	79.4	11.0	102.8
旧八木町	8.6	2.0	32.6	6.4	49.6
旧日吉町	5.2	1.3	107.1	10.0	123.5
旧美山町	5.4	1.5	323.9	9.7	340.5

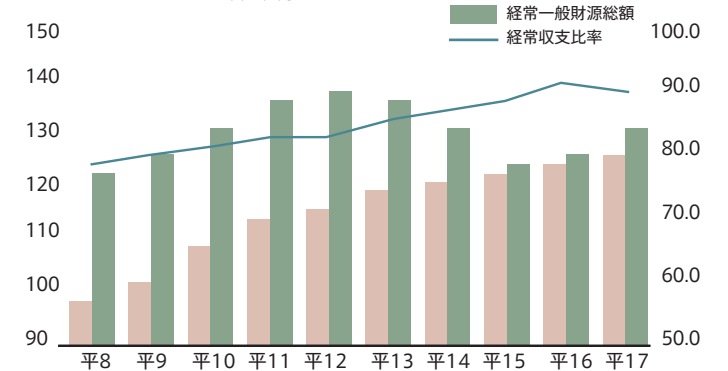
[資料]平成17年度版「京都市市町村のあらまし」

財政指標

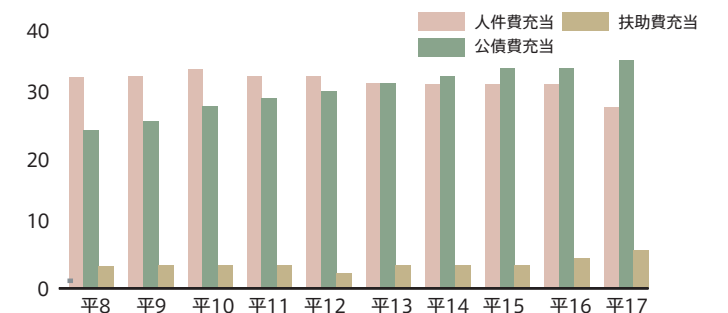
経常収支比率 単位:百万円

	合併前(旧4町合算)										合併後
	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	
経常収支比率(%)	78.4	79.7	81.9	83.3	82.7	85.1	87.2	88.4	91.7	90.3	
経常経費充当一般財源	9,851	10,206	10,768	11,302	11,487	11,910	12,049	12,266	12,397	12,513	
うち人件費充当	3,327	3,296	3,427	3,318	3,283	3,218	3,208	3,150	3,131	2,870	
うち公債費充当	2,514	2,640	2,823	2,971	3,021	3,206	3,302	3,384	3,465	3,588	
うち扶助費充当	340	334	381	403	285	326	331	409	465	598	
減税補てん・臨財債	291	174	106	5	5	259	732	1,406	996	768	
経常一般財源総額	12,278	12,637	13,049	13,570	13,879	13,729	13,083	12,477	12,524	13,097	

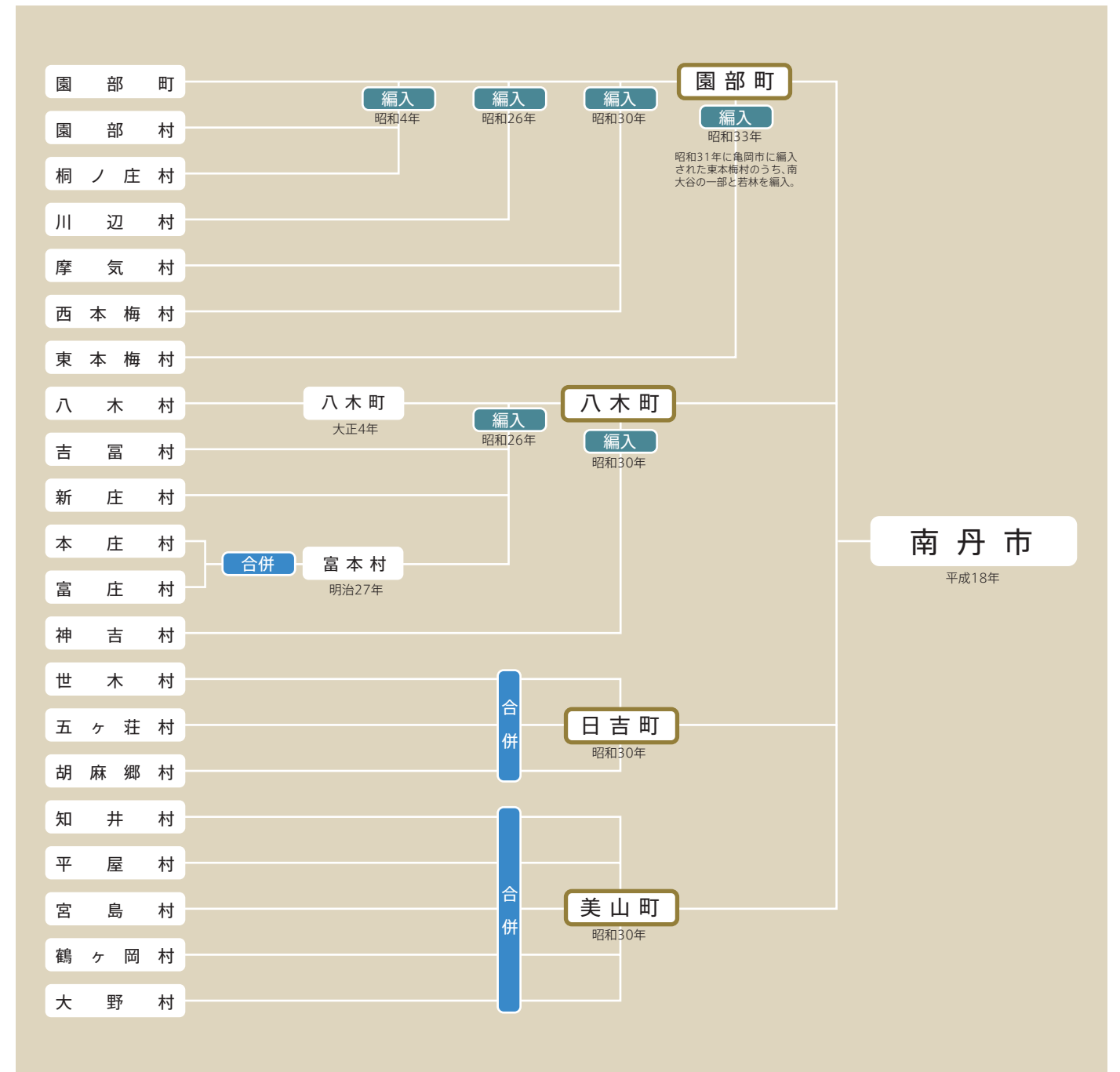
経常収支比率の状況 単位:億円



経常経費充当一般財源の内訳の状況 単位:億円



市域の変遷



市章

市章デザインの趣旨

南丹市の頭文字『な』をモチーフにデザイン化。「ふるさとに誇りと希望をもち、安心して暮らせる、「ぬくもりのあるまち」～農村にもう一度ひとが住み、若者が定住できる環境づくり～」をイメージし、未来に向って飛翔する同市・市民を親しみやすく象徴しました。4つの波は4つの町を意味しています。



《市長あいさつ》



市民のだれもが
「合併してよかった」と
感じていただける
南丹市のまちづくりに邁進

南丹市長 佐々木稔納

平成十八年一月一日、園部町・八木町・日吉町・美山町の四つの町が合併して「南丹市」が誕生いたしました。市民の皆さまをはじめ、関係各位のご理解とご協力を賜り、新しい市のまちづくりにご尽力を賜っておりますことに心から感謝とお礼を申し上げます。

今後は、新市建設計画をより具体的に進めるための南丹市総合振興

計画と南丹市行政改革大綱とを連動させながら、より市政を発展させようという決意を新たにしているところがあります。

何よりも市民の皆さまに「合併してよかった」と感じていただける南丹市にするためには、地域資源に磨きをかけながら、南丹市ならではの魅力を生み出していかなければなりません。

幸い、私たちのまち、「南丹市」は、これまでの四つの町で大切に培われてきたさまざまな特性があり、南丹市が大きく飛躍する可能性をもっています。皆さまと手を携えながら、一体感を持って誇るときを大切に、南丹市の創造に挑んでいきたいと思っておりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

南丹市
市勢要覧
2007



発行：南丹市
企画編集：総務部企画情報課
〒622-8651
京都府南丹市園部町小桜町47
TEL.0771-68-0001 FAX.0771-63-0653
E-mail info@city.nantan.kyoto.jp
URL <http://www.city.nantan.kyoto.jp>
制作：株式会社オム